

1. 財政危機克服に向けた平成17年度における取組

■ 平成19年度の財政危機を確実に克服し、財政再建団体への転落を回避するため、施策の再構築や組織等の再構築、歳入の確保に着手し、平成17年度において計画案を上回る取組を実施します。

(単位：億円)

前計画案の集中取組期間(14～16年度)		現計画案の緊急取組期間(17～19年度)			17年度予算
主な取組内容	実績見込額 (計画見込額)	主な取組内容	計画見込額	17年度	効果額
施策の再構築					
○66項目を着実に推進。施策評価において毎年度、全事業の約2～3割の事務事業について、休廃止を含め見直す	502 (240)	○水道事業会計への一般会計繰出金の休止 ○建設事業の重点化 ○流域下水道事業のあり方・維持操作補助金の見直し ○施策評価や事務事業見直しによる取組	250	65	89
組織等の再構築					
<ul style="list-style-type: none"> ◆組織の再編スリム化 <ul style="list-style-type: none"> ○一般行政部門における約800人削減など ◆勤務条件の見直し <ul style="list-style-type: none"> ○14・15・16年度に、給与引き下げ改定・据置を実施 ○15年度には、退職手当の支給率を引き下げ ◆出資法人の改革 <ul style="list-style-type: none"> ○法人の廃止・統合や役職員数の削減 ○府からの補助金、委託料の見直し など ◆公の施設の改革 <ul style="list-style-type: none"> ○運営効率の向上、民間の活力やノウハウの活用 	1,149 (460)	<ul style="list-style-type: none"> ◆組織の再編スリム化 <ul style="list-style-type: none"> ○定数削減に向けた取組 ◆勤務条件等の見直し <ul style="list-style-type: none"> ○勤務条件等の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・期末・勤勉手当の削減・管理職手当の見直し・特殊勤務手当等の見直し・時間外勤務の縮減・非常勤(若年)特別嘱託員のさらなる活用と制度の見直し検討・職員互助会・教職員互助組合(職員の福利厚生団体)への補助金の削減 など ◆出資法人改革 <ul style="list-style-type: none"> ○出資法人改革(公の施設改革を含む) 	555	135	136
歳入の確保					
<ul style="list-style-type: none"> ◆行政コストの縮減・自主財源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ○府税収入の確保、府有財産の売り払いなど自主財源の確保 	524 (445)	<ul style="list-style-type: none"> ◆自主財源の確保など <ul style="list-style-type: none"> ○府税の徴収向上 ○府有財産の売払い 	420	140	140
合 計	2,175 (1,145)	合 計	1,225	340	365

- 平成17年度当初予算案を踏まえ、財政収支の見直しを行った結果、計画案の見通しから改善し、平成19年度の財政危機の克服に向け、一步、前進することができました。

《計画案の収支見通し》

(単位：億円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
単年度収支	▲1,251	▲1,360	▲1,095	▲1,170	▲620	▲365	▲165	35
減債基金の活用(借入れ)	1,251	1,360	1,095	1,170	620	365	165	0
減債基金活用後単年度収支	0	0	0	0	0	0	0	35
減債基金活用後累積収支	▲290	▲290	▲290	▲290	▲290	▲290	▲290	▲255
減債基金活用可能残高	2,300	1,390	795	75	5	240	675	1,125

《見直後の収支見通し》

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
単年度収支	▲1,035	▲1,332	▲1,171	▲1,176	▲631	▲436	▲241	59
減債基金の活用(借入れ)	1,035	1,332	1,171	1,176	631	436	241	0
減債基金活用後単年度収支	0	0	0	0	0	0	0	59
減債基金活用後累積収支	▲289	▲289	▲289	▲289	▲289	▲289	▲289	▲230
減債基金活用可能残高	2,555	1,640	979	258	207	421	830	1,320

- | | | | |
|------------------|------|---|-------|
| ◆19年度の減債基金活用可能残高 | 75億円 | ⇒ | 258億円 |
| ◆20年度の減債基金活用可能残高 | 5億円 | ⇒ | 207億円 |
| ◆23年度の単年度収支の黒字 | 35億円 | ⇒ | 59億円 |

《取組効果比較表》(上段：計画案、下段：見直後)

(単位：億円、一般財源ベース)

	17年度	18年度	19年度	17~19年度計	7年間の総額
施策の再構築	65	85	100	250	820
	89	100	100	289	858
	95	125	160	380	1,190
施策・建設事業の重点化	119	140	160	419	1,228
再生重点枠	▲30	▲40	▲60	▲130	▲370
	▲30	▲40	▲60	▲130	▲370
組織等の再構築	135	180	240	555	1,600
	136	180	240	556	1,601
	130	165	215	510	1,450
組織・定数、勤務条件の見直し	130	165	215	510	1,450
出資法人の見直し(公の施設含む)	5	15	25	45	150
	6	15	25	46	151
歳入の確保	140	140	140	420	840
	140	140	140	420	840
取組計	340	405	480	1,225	3,260
	365	420	480	1,265	3,299

◆17年度の取組効果	340億円 ⇒ 365億円
◆緊急取組期間(17~19年度)の取組効果	1,225億円 ⇒ 1,265億円
◆計画期間(7年間)取組効果	3,260億円 ⇒ 3,299億円